



## 日本 LCA 学会講演会【温室効果ガス排出削減実績量の評価と活用に向けて】

- ◆日 時：2026 年 2 月 10 日（火）14：00～17：15
- ◆会 場：全日通霞が関ビル 東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番地 3 号 8 階  
<https://www.neu.or.jp/access.html>
- ◆主 催：一般社団法人日本 LCA 学会  
共 催：LCA 日本フォーラム
- ◆参加費：日本 LCA 学会会員/LCA 日本フォーラム会員：無料、一般：¥5,000
- ◆懇親会参加費：¥5,000
- ◆申込 URL：<https://lcasakugen0210.peatix.com>
- ◆申込締切：2026 年 2 月 5 日（木）

### 【開催趣旨】

近年、温室効果ガス（GHG）排出削減に関する評価・活用の重要性が高まっています。日本では、経済産業省を中心に、一般社団法人日本 LCA 学会の「GHG 削減実績評価手法研究会」および LCA 日本フォーラムの「GHG 削減貢献量算定研究会」と連携し、削減実績量の算定および活用スキームについて議論が進められています。

削減実績量とは、企業や事業活動において削減施策を行い、その施策を反映した製品単位の排出削減量を定量的に評価する指標です。これは、カーボンニュートラルや GX 推進における評価基盤となると考えられています。

また、削減実績量その他、「削減貢献量」についても議論が進んでおり、こちらは製品や技術の利用によってライフサイクルを通して期待される排出削減効果を示す指標であり、過去からのまた将来のサプライチェーンでの排出削減のポテンシャルを評価する手法となります。両者は目的や活用場面が異なるため、政策や企業戦略において適切に使い分けることが求められています。

現在、削減実績量評価に関するガイドラインの発行に向けて最終調整が行われており、その開発経緯や今後の展望を共有するため、本講演会を開催いたします。政策動向、研究会での議論、ガイドラインの概要、さらに業界事例を通じて、削減実績量評価の実務的な算定や活用について議論いたします。



【プログラム（案）】

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～14:45

『削減実績量評価を含めた政策活用（仮）』

経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ GX 推進企画室 河野 孝史 室長

『バリューチェーン全体の脱炭素化に向けた環境省の取組み』

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 小野 裕永 室長

14:45～15:15 削減実績量・削減貢献量・Avoided emissions・Emissions reduction

東京大学先端科学技術研究センター 教授 醍醐 市朗 氏

15:15～15:45 削減実績量評価のガイドラインの紹介

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 内田 裕之氏/桐原 貴大 氏

15:45～16:00 休憩

16:00～16:40 削減実績量評価事例

1) 鉄鋼業界における削減実績量の活用

日本製鉄株式会社 環境政策企画部 部長代理 堂野前 等 様

2) 化学業界における環境価値の評価と活用

I) 削減貢献量 日本化学工業協会 林 真弓 様（住友化学株式会社）

II) 削減実績量 石油化学工業協会 村上 岳 様（旭化成株式会社）

16:40～17:10 削減実績量評価の活用に向けた総合討論

17:10～17:15 閉会挨拶

17:45～ 懇親会

会場：商工会館 東京都千代田区霞が関 3-4-2

<https://shokokaikan.or.jp/access/index.html>

※本イベント QR コード（こちらからもお申し込みいただけます）

